

実践『ペルソナ』通信 (No.26)  
「実践女子大生の脱毛」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、「脱毛に関する意識」についてアンケート調査を実施しました。有効回答者数は59サンプルでした。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学（担当:竹内光悦）」、「経営学（担当:篠崎香織）」、「マーケティング（担当:斎藤明）」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

総括

渋谷キャンパスに所属する実践女子大生は、脱毛に関してどのような意識を持っているのか、59サンプルの実践女子大生から回答を得た。

脱毛サロン・クリニックに通っている、または通ったことがある人は、41%、通っていない人は59%という結果になった。

また、自己処理についての調査を行ったところ、自己処理を始めるのが早い人ほど脱毛サロン・クリニックに通い、自己処理を始めるのが遅い人ほど脱毛サロン・クリニックに通う人が少ないことが分かった。

さらに、彼氏の有無と脱毛サロン・クリニックの利用について分析した結果、彼氏がいる、またはいたことがある人は、彼氏がいたことがない人よりも脱毛サロン・クリニックに通っていることが分かった。

調査結果のポイント

(1) 脱毛サロン・クリニックに通っている人が49%

脱毛サロン・クリニックに通っている、または通ったことがある人は、41%、通っていない人は59%であった（図1）。

(2) 自己処理を始めるのが遅い人ほどサロン・クリニックに通う人が少ない

自己処理をいつから始めたかについて、小学校低学年が2%、小学校高学年が27%、中学が56%、高校が13%、大学が0%、やっていないという人が2%という結果となった。

一番多い中学からを「中心」とし、小学校低学年・高学年からを「早い」、高校・大学・やっていないを「遅い」と3つに分類分けをした。「早い」グループの中で脱毛サロン・クリニックに通って

いる人は47%、「中心」グループの中で脱毛サロン・クリニックに通っている人は45%、「遅い」グループの中で脱毛サロン・クリニックに通っている人は10%であった。

この結果から、自己処理を始めるのが遅い人ほど、脱毛サロン・クリニックに通う人が少ないことが分かった(図12)。

### (3) 彼氏の有無と脱毛サロン・クリニックに通う関連性

彼氏の有無を聞いたところ、彼氏がいる人が29%、今はいない人が34%、いたことがない人が37%であった(図11)。交際経験がある、ないでグループ分けをすると、交際経験があるが63%、交際経験がないが37%となる。

「交際経験がある」グループでは、脱毛サロン・クリニックに通う人が51%、通っていない人が49%であり、「交際経験がない」グループでは、サロン・クリニックに通う人が25%、通っていない人が75%という結果になった。

これらについて、グループ間の違いをみるためにカイ二乗分析をしたところ、彼氏の有無と脱毛サロン・クリニックへの通院状況には、統計的に有意な差があることがわかった( $\chi^2=4.684$ ,  $df=1$ ,  $p<.05$ ) (図13)。

## 調査結果について

### <調査概要>

1. 調査対象： 実践女子大生1年～4年生(短大生含む、渋谷キャンパス在生)
2. 調査方法： 質問紙によるアンケート
3. 調査期間： 2016年5月30日
4. 有効回答者数：52人
5. 回答者の属性：【実践女子大学生：学年】1年：0%、2年：0%、3年：85%、4年：15%

## 本件調査担当

実践「ペルソナ」研究会

3年 齋田 玲菜

3年 本田 安紗美

3年 渡辺 莉子

## 調査結果データ

### (1) 脱毛サロン・クリニックへの通院状況

脱毛サロン・クリニックの利用について、通っている(通ったことがある)人が41%、通っていない人が59%となり、通っていない人のほうがやや多い結果となった(図1)。

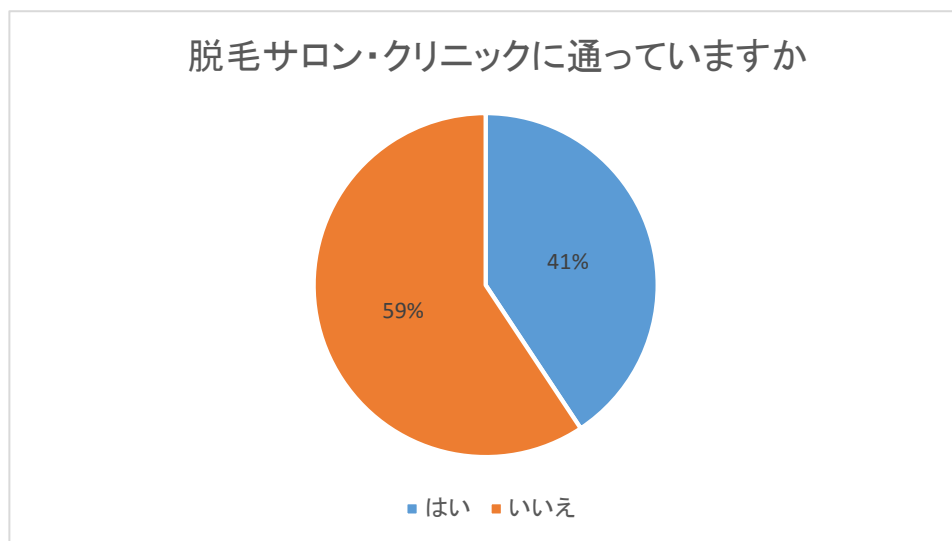


図1 実践女子大生の脱毛における実態(n=59)

### (2) 脱毛サロン・クリニックに通う理由

サロン・クリニックに通っている人の「通う理由」として最も多かったのは「気になるから」、「女性としてのマナー」、「周りが行っているから」と続いた(図2)。

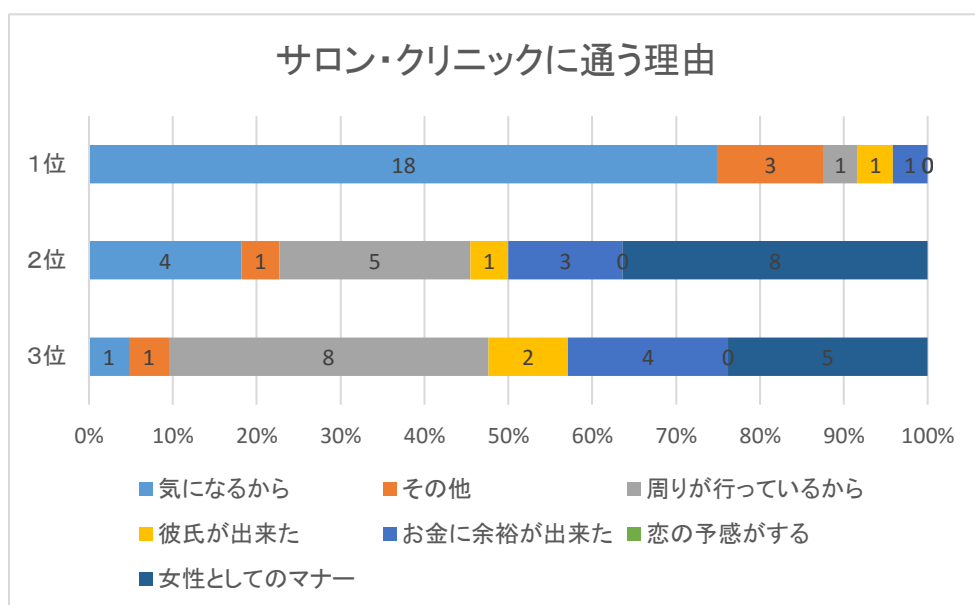


図2 実践女子大生におけるサロン・クリニックに通う理由(n=24)

### (3) ワキを施術する人が最も多い

施術を行っている部位はどこかと尋ねたところ 29%の人がワキと回答した。次いで脚と回答した人が 14%、腕と回答した人が 13%、VIO と回答した人が 10%、全身施術を行っている人が 10%、背中と回答した人が 7%、顔と回答した人が 7%、うなじと回答した人が 5%、お腹と胸周り と回答した人が 5%となった(図 3)。この結果から脇や腕、脚などの見える部分の施術を行う人が多いことがわかった。

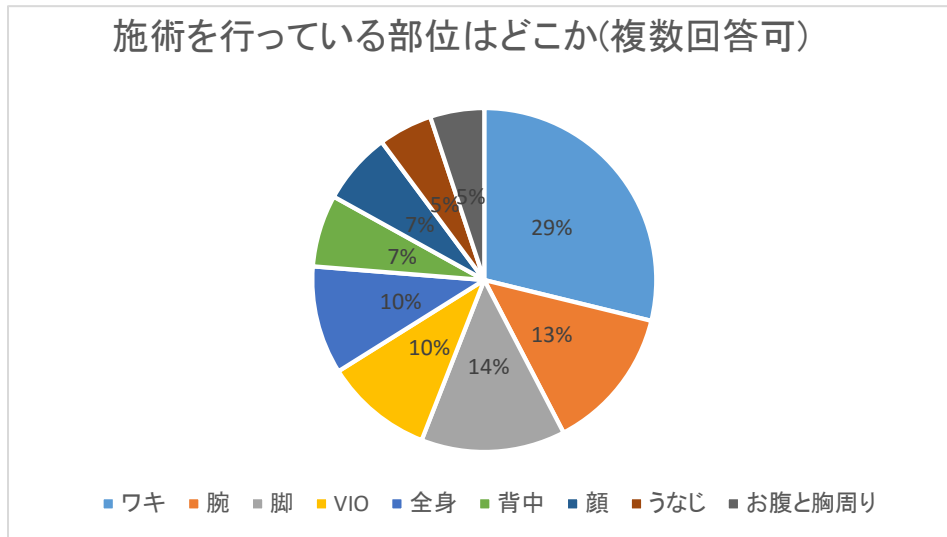


図 3 実践女子大生における施術部位の実態(n=24)

### (4) 脱毛に対する一ヶ月の平均支払い金額は約半数が 5 千円未満

脱毛に対する一ヶ月の平均支払い金額はいくらか尋ねたところ 42%の人が 5 千円未満と回答した。次いで 5 千円～1 万円未満と回答した人が 21%、1 万～1 万 5 千円未満と回答した人が 17%、1 万 5 千円～2 万円未満と回答した人が 4%、2 万円以上と回答した人が 4%となり、5 千円未満と回答した人が最も多かった(図 4)。

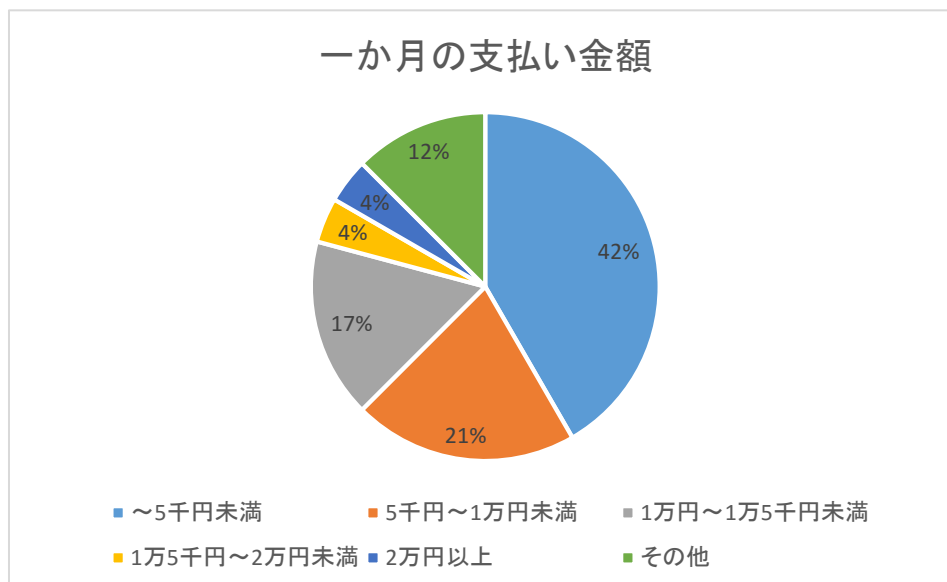


図 4 実践女子大生における脱毛にかかる金額の実態(n=24)

### (5) 約8割が大学生になってから脱毛サロン・クリニックに通い始める

サロン・クリニックに通い始めたのはいつからかと尋ねたところ、79%の人が大学生と回答した。次いで、高校生と回答した人が21%、中学生と回答した人はおらず、ほとんどの人が大学生になってからサロン・クリニックに通い始めている(図5)。この結果から、金銭的にも時間的にも高校時代より大学生になってからのほうが余裕ができ、また年齢的にも親の承諾がなくても施術を行えるようになることから大学生になってからサロン・クリニックに通い始める人が多いのではないかと考えられる。

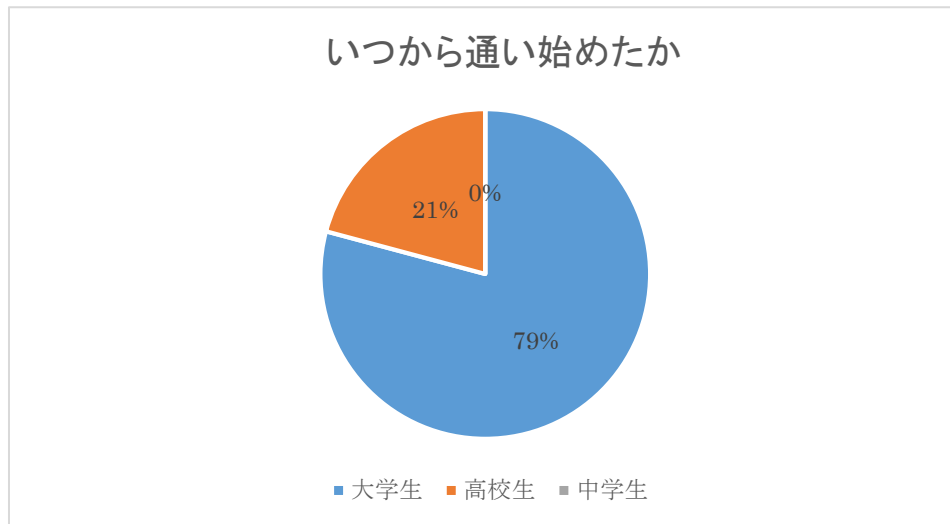


図5 実践女子大生におけるサロン・クリニックに通い始めた年齢の実態(n=24)

### (6) 6割の人がミュゼに通っている

通っているサロン・クリニックの名前を尋ねたところ、61%の人がミュゼと回答した。次いでシースリーと回答した人が11%、ハーニーズと回答した人が5%、ラットタットと回答した人が5%、フェミーと回答した人が6%、ラックスと回答した人が6%、Jエステと回答した人が6%でミュゼが圧倒的な人数を占めた(図6)。知名度も高く、低価格で施術を受けられるというイメージの強いミュゼはやはり人気が高いということが分かった。

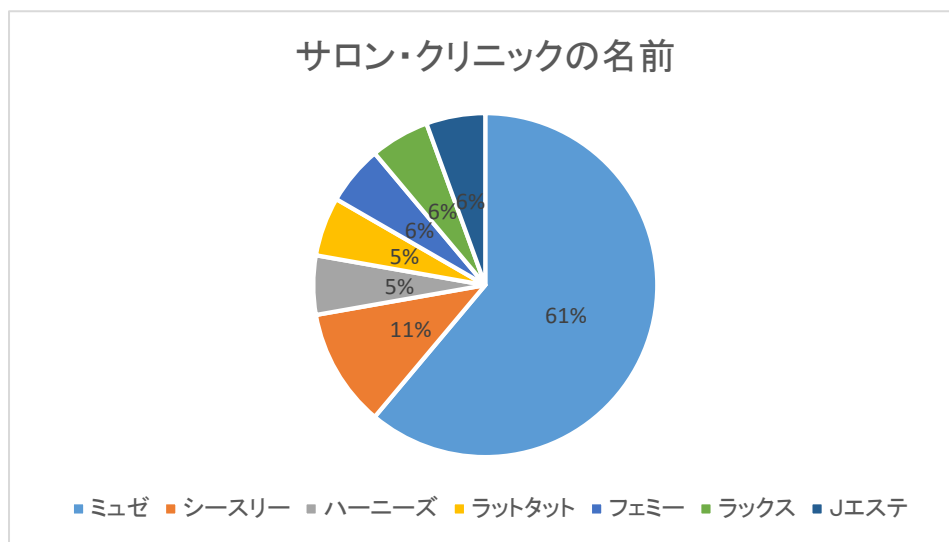


図6 実践女子大生におけるサロン・クリニックの利用医院の実態(n=24)

### (7) 3割の人がお金がないという理由でサロン・クリニックに通っていない

サロン・クリニックに通わない理由を尋ねたところ、33%の人がお金がないからと回答した。次いで自己処理で十分と回答した人が21%、勇気が出ないと回答した人が20%、時間がないと回答した人が12%、気にならないと回答した人が10%となり、金銭的な理由が最も多かった(図7)。約半分の人がサロン・クリニックに行っても毛の処理をする必要がないと考えていることが分かった。

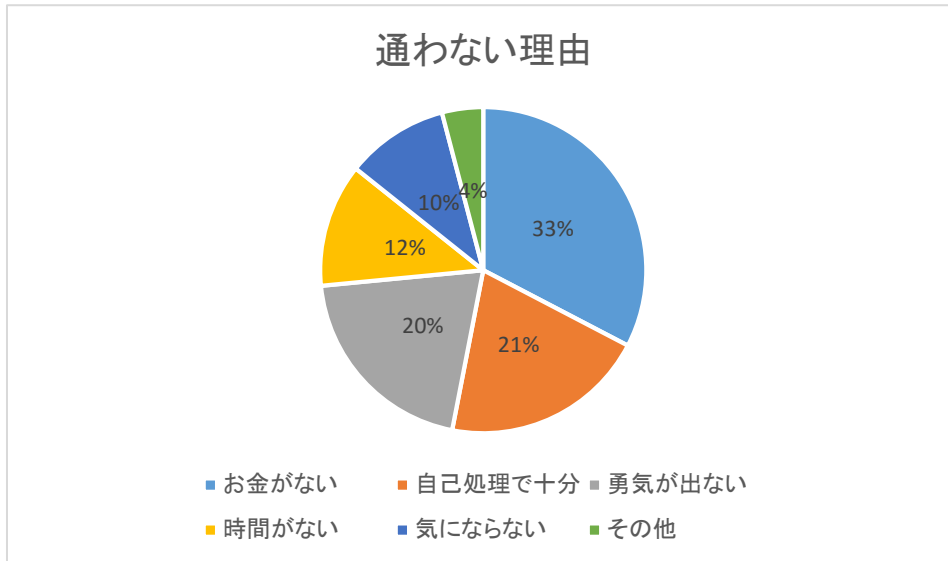


図7 実践女子大生における通わない理由(n=35)

### (8) 中学生から自己処理を始めた人が半数以上

自己処理を始めた時期について尋ねたところ、56%の人が中学と回答した。次いで小学校高学年と回答した人が27%、高校と回答した人が13%、やっていないと回答した人が2%、小学校低学年と回答した人は2%、大学と回答した人はおらず、高校時代から自己処理を行っている人が半数を占める結果となった(図8)。成長が著しい小学校高学年頃から体毛に関しても気になるようになり自己処理を始める人が増え始めるということが分かった。

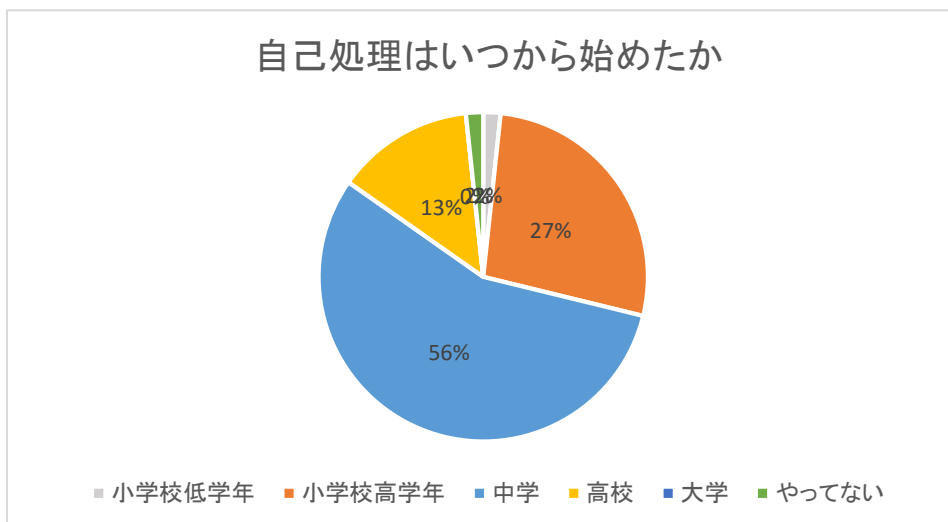


図8 実践女子大生における自己処理の実態①(n=59)

### (9) 自己処理を行っている部位はワキ、腕、脚が多い

自己処理を行っている部分はどこか尋ねたところ、24%の人がワキ、腕、脚と回答した。次いで顔と回答した人が13%、お腹と背中周りとは回答した人が5%、VIOと回答した人が3%、背中と回答した人が3%、全身と回答した人が3%、うなじと回答した人が1%となり、ワキ、腕、脚などの見える部分の自己処理をしている人が多いことがわかった(図9)。露出が多い部分で尚且つ自分で簡単に処理できる範囲が自己処理の対象となっていることがわかった。

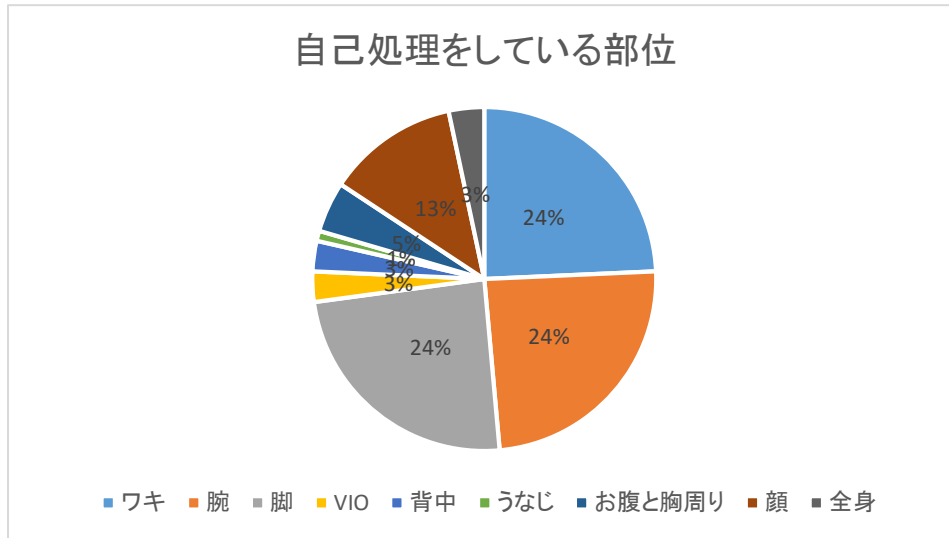


図9 実践女子大生における自己処理の実態②(n=59)

### (10) 自己処理は週に2~3回行っている人が最も多い

自己処理の頻度を尋ねたところ41%の人が週2~3回と回答した。次いで週4~5回と回答した人が25%、気になった時のみと回答した人が22%、毎日と回答した人が7%、週1回と回答した人が5%という結果になった(図10)。

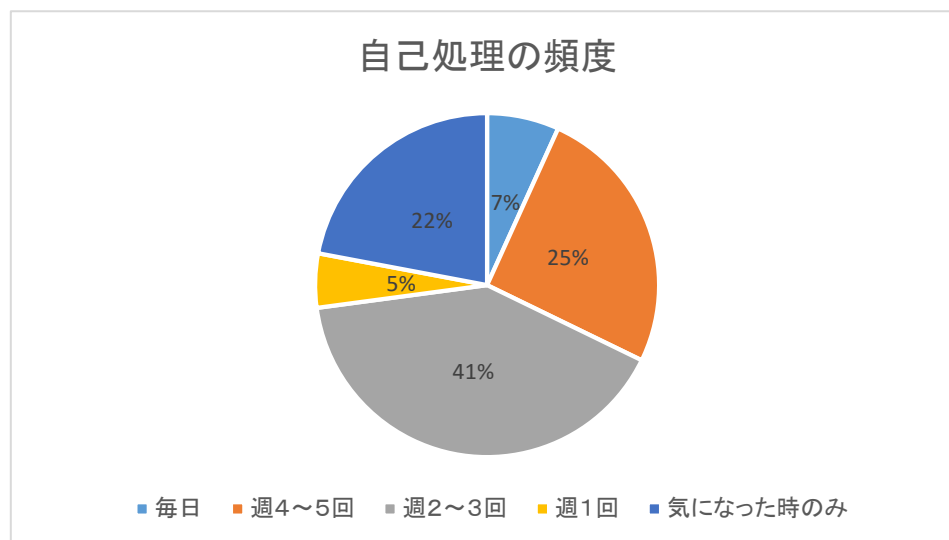


図10 実践女子大生における自己処理の実態③(n=59)

### (11) 彼氏はいたことがないという人が最も多い

彼氏がいるかどうか尋ねたところ、37%の人がいたことがないと回答した。次いで今はいないと回答した人が34%、いると回答した人が29%となり、いたことがないという人が最も多く、今はいないという人との差が僅かであった(図 11)。

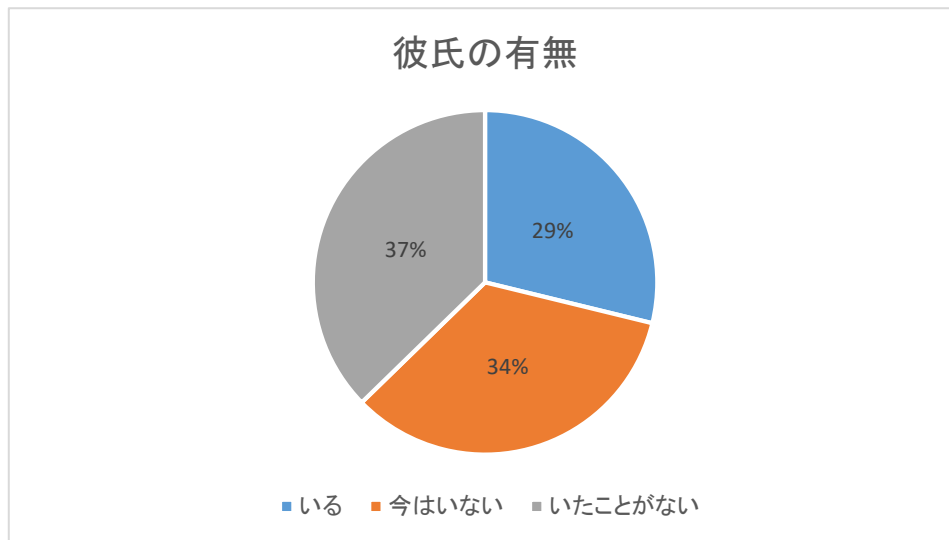


図 11 実践女子大生における恋人の実態(n=59)

### (12) 自己処理を始めるのが早い人ほど、脱毛サロン・クリニックに通っている

自己処理をいつから始めたかについて、小学校低学年が2%、小学校高学年が27%、中学が56%、高校が13%、大学が0%、やっていないという人が2%という結果となった。

一番多い中学からを「中心」とし、小学校低学年・高学年からを「早い」、高校・大学・やっていないを「遅い」と3つに分類分けをした。「早い」グループの中で脱毛サロン・クリニックに通っている人は47%、「中心」グループの中で脱毛サロン・クリニックに通っている人は45%、「遅い」グループの中で脱毛サロン・クリニックに通っている人は10%であった。

この結果から、「早い」(小学校低学年・高学年)うちから処理をし、気にしている人ほど脱毛サロン・クリニックに通い、自己処理を始めるのが遅い人ほど、脱毛サロン・クリニックに通う人が少ないことが分かった。

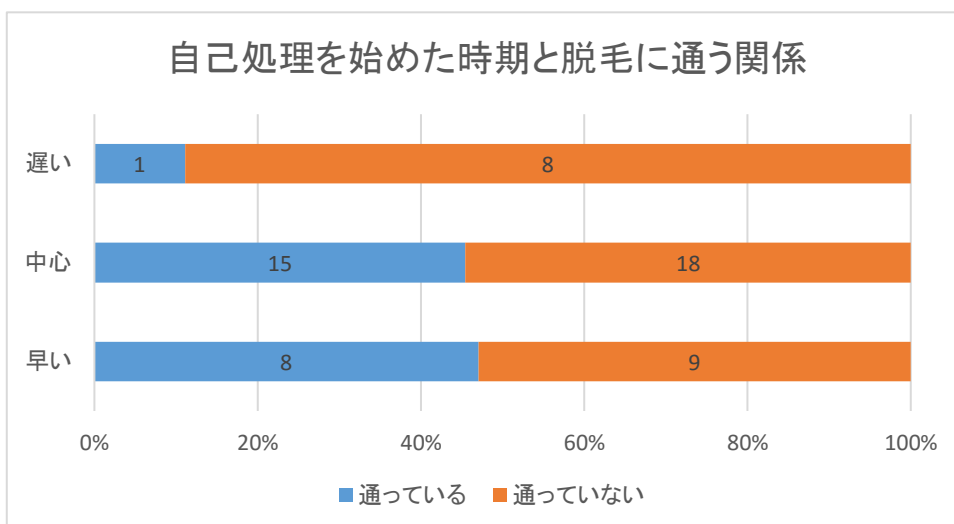


図 12 実践女子大生における自己処理を始めた時期と脱毛経験の関連(n=59)



### (13) 交際経験がある人のほうが脱毛サロン・クリニックに通っている

交際経験と脱毛サロン・クリニックへの通院状況についてカイニ乗分析をしたところ、彼氏がいる、またはいたことがある人は、彼氏がいたことがない人よりも脱毛サロン・クリニックに通っていることが分かった ( $\chi^2=4.684, df=1, p<.05$ )。

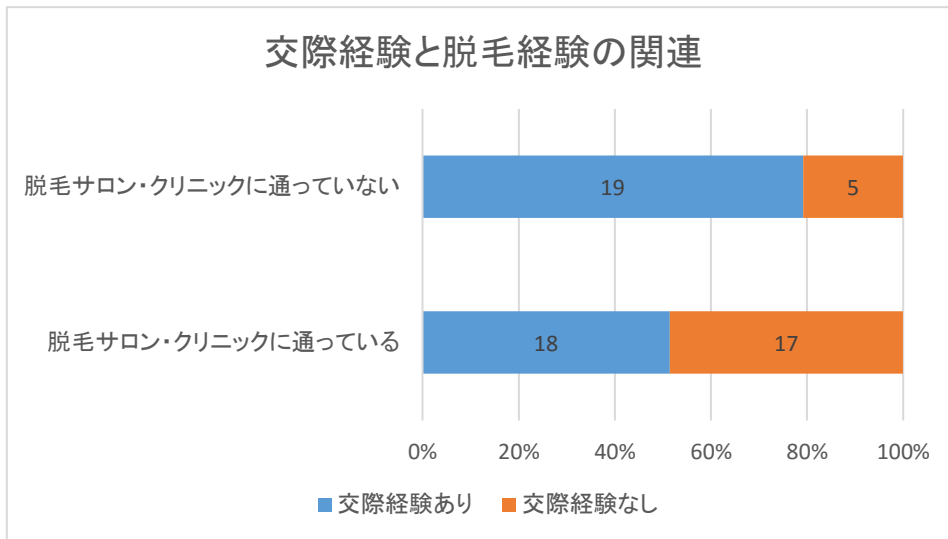


図 13 実践女子大生における恋人の実態と脱毛の関連(n=59)